



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和5年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

[illegible]

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (調査)

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 1号 ***					
S02115	技師 (A)					
	技師 (A)		人	57,000		歩A・単A
	*** S単ー 2号 ***					
S02115	技師 (B)					
	技師 (B)		人	47,200		歩A・単A
	*** S単ー 3号 ***					
S02115	技師 (C)					
	技師 (C)		人	38,400		歩A・単A
	*** S単ー 4号 ***					
S02115	技術員					
	技術員		人	33,600		歩A・単A
	*** S単ー 5号 ***					
S63003	設計労務(直接人件費内業)					
	設計労務(直接人件費内業)		式	976,000		歩A・単A
	*** S単ー 6号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)					
	設計労務(直接人件費外業)		式	2,122,000		歩A・単A
	*** S単ー 7号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)					
	設計労務(直接人件費外業)		式	357,600		歩A・単A
	*** S単ー 8号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)					
	設計労務(直接人件費外業)		式	322,500		歩A・単A
	*** S単ー 9号 ***					
S65002	近接目視					
	近接目視 点的構造物,69㎡		式	85,109		歩A・単A
	*** S単ー 10号 ***					
S65003	コンクリート強度推定調査					
	コンクリート強度推定調査		測点	3,960		歩A・単A
	*** S単ー 11号 ***					
S65009	中性化深さ試験(ドリル法)					
	中性化深さ試験(ドリル法)		箇所	8,203		歩A・単A
	*** X単ー 1号 ***					
X63007	現地踏査					
	旅費交通費 (機能診断外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 0.50日, 2日, 4時間, あり, 100km ≤ L (100km以上)		式	233,559		歩A・単A
	*** X単ー 2号 ***					
X63007	現地調査					
	旅費交通費 (機能診断外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 0.50日, 2日, 4時間, あり, 100km ≤ L (100km以上)		式	280,447		歩A・単A
	*** T単ー 1号 ***					
T00001	現地踏査					
			km	217,505		歩A・単A
	*** T単ー 2号 ***					
T00002	漏水量調査					
	音聴試験		km	38,978		歩A・単A
	*** T単ー 3号 ***					
T00003	概略診断調査【バルブ類】					
			箇所	39,668		歩A・単A
	*** T単ー 4号 ***					
T00006	平面図及び縦断面図の電子化					
			km	97,600		歩A・単A
	*** T単ー 5号 ***					
T00008	移動に係る基準日額					
	現地踏査		式	88,100		歩A・単A
	*** T単ー 6号 ***					
T00009	移動に係る基準日額					
	現地調査		式	88,100		歩A・単A

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務				

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (調査)

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
	合 計				57,000	算出数量 1.000 人
	単 価				57,000	
	*** S単- 2号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04005	技師 (B)	1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				47,200	算出数量 1.000 人
	単 価				47,200	
	*** S単- 3号 ***					
S02115	技師 (C)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (C)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04006 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04006	技師 (C)	1.000	人	38,400	38,400	
	合 計				38,400	算出数量 1.000 人
	単 価				38,400	
	*** S単- 4号 ***					
S02115	技術員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04007 基(B)		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		
R04007	技術員	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				33,600	算出数量 1.000 人
	単 価				33,600	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数 2) 技師長的人数 3) 主任技師の人数 4) 技師Aの人数 5) 技師Bの人数 6) 技師Cの人数 7) 技術員的人数	0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 10.00人 0.00人 15.00人		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
				深夜時間: 0.0		

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (調査)

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
R04005	技師 (B)	10.000	人	47,200	472,000	
R04007	技術員	15.000	人	33,600	504,000	
	合 計				976,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		976,000	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	10.00 人				
	5) 技師 B の人数	10.00 人				
	6) 技師 C の人数	15.00 人				
	7) 技術員 の人数	15.00 人				
R04004	技師 (A) 外業	10.000	人	57,000	570,000	
R04005	技師 (B) 外業	10.000	人	47,200	472,000	
R04006	技師 (C) 外業	15.000	人	38,400	576,000	
R04007	技術員 外業	15.000	人	33,600	504,000	
	合 計				2,122,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,122,000	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	0.00 人				
	5) 技師 B の人数	3.00 人				
	6) 技師 C の人数	3.00 人				
	7) 技術員 の人数	3.00 人				
R04005	技師 (B) 外業	3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C) 外業	3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員 外業	3.000	人	33,600	100,800	
	合 計				357,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		357,600	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	2.50 人				
	5) 技師 B の人数	0.00 人				
	6) 技師 C の人数	2.50 人				
	7) 技術員 の人数	2.50 人				
R04004	技師 (A) 外業	2.500	人	57,000	142,500	
R04006	技師 (C) 外業	2.500	人	38,400	96,000	
R04007	技術員 外業	2.500	人	33,600	84,000	
	合 計				322,500	算出数量 1.000 式

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務				

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (調査)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		322,500	
	*** S単- 9号 ***					
S65002	近接目視		式		1,000	歩A 当たり算出
	近接目視 点的構造物, 69㎡			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 対象構造物 2) 作業対象面積	点的構造物 69㎡		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04005	技師 (B) 外業	1,000	人	47,200	47,200	
R04006	技師 (C) 外業	1,000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	1,000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費 3.0%	0.030		119,200	3,576	
Y00004	材料費 2.0%	0.020		119,200	2,384	
	合 計				125,160	算出数量 1,000 式
	単 価		式		85,109	
	*** S単- 10号 ***					
S65003	コンクリート強度推定調査		測点		1,000	歩A 当たり算出
	コンクリート強度推定調査			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 強度推定調査	計上する		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04006	技師 (C) 外業	1,000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	1,000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		72,000	7,200	
	合 計				79,200	算出数量 20,000 測点
	単 価		測点		3,960	
	*** S単- 11号 ***					
S65009	中性化深さ試験 (ドリル法)		箇所		1,000	歩A 当たり算出
	中性化深さ試験 (ドリル法)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 中性化深さ試験 (ドリル法)	計上する		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
R04005	技師 (B) 外業	1,000	人	47,200	47,200	
R04006	技師 (C) 外業	1,000	人	38,400	38,400	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		85,600	8,560	
Y00004	材料費 5.0%	0.050		85,600	4,280	
	合 計				98,440	算出数量 12,000 断面
	単 価		断面		8,203	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (調査)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** X単一 1号 ***					
X63007	現地踏査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (機能診断外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 0.50日, 2日, 4時間, あり, 100km ≤ L (100km以上)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 宿泊地	乙地		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 交通機関区分	ライトバン		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 高速道路往復料金 (税別)	4,836円		深夜時間: 0.0		
	4) 鉄道往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	5) バス往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	6) 船舶往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	7) 航空往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	8) 往復移動日数	0.50日				
	9) ライトバン使用日数	2日				
	10) 時間区分	4時間				
	11) 補正区分	あり				
	12) 技師長外業日数	0.000人				
	13) 主任技師外業日数	0.000人				
	14) 技師A外業日数	4.600人				
	15) 技師B外業日数	4.600人				
	16) 技師C外業日数	6.900人				
	17) 技術員外業日数	6.900人				
	18) 往復移動距離区分	100km ≤ L (100km以上)				
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (4級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54005	設計用技師 (C) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (3級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54006	設計用技術員宿泊費 (乙地) 消費税抜き (2級相当)	1.000	人	7,090	7,090	
P54113	外業の滞在日額旅費 3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	4.000	人	8,354	33,416	
P54113	外業の滞在日額旅費 3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	4.000	人	8,354	33,416	
P54113	外業の滞在日額旅費 3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	8.000	人	8,354	66,832	
P54112	外業の滞在日額旅費 2級相当以下 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	8.000	人	6,736	53,888	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	4,836	4,836	
M28121	ライトバン [ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	21.600	L	159	3,434	
	合 計				233,559	算出数量 1.000 式
	単 価		式		233,559	
	*** X単一 2号 ***					
X63007	現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (機能診断外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 0.50日, 2日, 4時間, あり, 100km ≤ L (100km以上)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 宿泊地	乙地		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 交通機関区分	ライトバン		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 高速道路往復料金 (税別)	4,836円		深夜時間: 0.0		
	4) 鉄道往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	5) バス往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	6) 船舶往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	7) 航空往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	8) 往復移動日数	0.50日				
	9) ライトバン使用日数	2日				
	10) 時間区分	4時間				
	11) 補正区分	あり				
	12) 技師長外業日数	0.000人				
	13) 主任技師外業日数	0.000人				
	14) 技師A外業日数	6.250人				
	15) 技師B外業日数	2.050人				
	16) 技師C外業日数	8.450人				
	17) 技術員外業日数	8.200人				
	18) 往復移動距離区分	100km ≤ L (100km以上)				
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (4級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54005	設計用技師 (C) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (3級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54006	設計用技術員宿泊費 (乙地) 消費税抜き (2級相当)	1.000	人	7,090	7,090	
P54113	外業の滞在日額旅費 3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	8.000	人	8,354	66,832	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務

業務別業務名:多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (調査)

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T単一 1号 ***					
T00001	現地踏査		km		10,000	歩A 当たり算出
S63007	設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	2,122,000	2,122,000	S単 6号
Y00004	雑品	0.025		2,122,000	53,050	
	合 計				2,175,050	算出数量 10.000 km
	単 価		km		217,505	
	*** T単一 2号 ***					
T00002	漏水量調査		km		10,000	歩A 当たり算出
S63007	設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	357,600	357,600	S単 7号
Y00004	雑品	0.090		357,600	32,184	
	合 計				389,784	算出数量 10.000 km
	単 価		km		38,978	
	*** T単一 3号 ***					
T00003	概略診断調査【バブル類】		箇所		10,000	歩A 当たり算出
S63007	設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	322,500	322,500	S単 8号
Y00004	雑品	0.230		322,500	74,175	
	合 計				396,675	算出数量 10.000 箇所
	単 価		箇所		39,668	
	*** T単一 4号 ***					
T00006	平面図及び縦断図の電子化		km		10,000	歩A 当たり算出
S63003	設計労務(直接人件費内業)	1.000	式	976,000	976,000	S単 5号
	合 計				976,000	算出数量 10.000 km
	単 価		km		97,600	
	*** T単一 5号 ***					
T00008	移動に係る基準日額		式		1,000	歩A 当たり算出
S02115	現地踏査 技師 (A)	0.500	人	57,000	28,500	S単 1号
S02115	技師 (B)	0.500	人	47,200	23,600	S単 2号
S02115	技師 (C)	0.500	人	38,400	19,200	S単 3号
S02115	技術員	0.500	人	33,600	16,800	S単 4号
	合 計				88,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		88,100	
	*** T単一 6号 ***					
T00009	移動に係る基準日額		式		1,000	歩A 当たり算出

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (設計)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S63003	管理水準の設定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.81 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	1.95 人				
	5) 技師 B の人数	0.00 人				
	6) 技師 C の人数	0.00 人				
	7) 技術員 の人数	0.00 人				
R04003	主任技師	0.810	人	64,800	52,488	
R04004	技師 (A)	1.950	人	57,000	111,150	
	合 計				163,638	算出数量 1.000 式
	単 価		式		163,638	
	*** S単一 2号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	一般工種, 着手前・最終, 1.00 人, 1.00 人, 0.00 人, 0.00 人, 0.5 日, 0.2 日			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間: 0.0		
	2) 打合せ	着手前・最終				
	3) 設計用主任技師人数	1.00 人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00 人				
	5) 設計用技師(B)人数	0.00 人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00 人				
	7) 打合せ日数	0.500 日				
	8) 往復移動日数	0.200 日				
R04003	主任技師	0.700	人	64,800	45,360	
R04004	技師 (A)	0.700	人	57,000	39,900	
	合 計				85,260	算出数量 1.000 回
	単 価		回		85,260	
	*** S単一 3号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	一般工種, 中間, 0.00 人, 1.00 人, 1.00 人, 0.00 人, 0.5 日, 0.2 日			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間: 0.0		
	2) 打合せ	中間				
	3) 設計用主任技師人数	0.00 人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00 人				
	5) 設計用技師(B)人数	1.00 人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00 人				
	7) 打合せ日数	0.500 日				
	8) 往復移動日数	0.200 日				
R04004	技師 (A)	0.700	人	57,000	39,900	
R04005	技師 (B)	0.700	人	47,200	33,040	
	合 計				72,940	算出数量 1.000 回
	単 価		回		72,940	
	*** S単一 4号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	一般工種, 着手前・最終, 通勤により打合せ,,, 一般交通機関, 0 日,, L < 100km (100km未満)			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間: 0.0		
	2) 打合せ内容	着手前・最終				
	3) 主任技師配置人員	1 人				
	4) 技師 A 配置人員	1 人				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (設計)

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5) 技師 B 配置人員	0 人				
	6) 技師 C 配置人員	0 人				
	7) 打合せ日数	0. 50 日				
	8) 往復移動日数	0. 20 日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	12) 交通機関区分	一般交通機関				
	13) 高速道路往復料金 (税別)	0 円				
	14) 鉄道往復 1 人当料金 (税別)	1, 562 円				
	15) バス往復 1 人当料金 (税別)	0 円				
	16) 船舶往復 1 人当料金 (税別)	0 円				
	17) 航空往復 1 人当料金 (税別)	0 円				
	18) ライトバン使用日数	0 日				
	20) 往復移動距離区分	L < 100km (100km 未満)				
P54306	鉄道料金					
	消費税抜き	2. 000	人	1, 562	3, 124	
	合 計				3, 124	算出数量 1. 000 回
	単 価		回		3, 124	
	*** S 単一 5 号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1. 000 回	歩 A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費)			時間的制約: なし	制約作業時間: 0. 0	
	一般工種, 中間, 通勤により打合せ, , , 一般交通機関, 0 日, , L < 100km			夜間制約作業時間: 0. 0	冬期補正: なし	
	(100km 未満)			豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
				基本給時間: 8. 0	超勤時間: 0. 0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間: 0. 0		
	2) 打合せ内容	中間				
	3) 主任技師配置人員	0 人				
	4) 技師 A 配置人員	1 人				
	5) 技師 B 配置人員	1 人				
	6) 技師 C 配置人員	0 人				
	7) 打合せ日数	0. 50 日				
	8) 往復移動日数	0. 20 日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	12) 交通機関区分	一般交通機関				
	13) 高速道路往復料金 (税別)	0 円				
	14) 鉄道往復 1 人当料金 (税別)	1, 562 円				
	15) バス往復 1 人当料金 (税別)	0 円				
	16) 船舶往復 1 人当料金 (税別)	0 円				
	17) 航空往復 1 人当料金 (税別)	0 円				
	18) ライトバン使用日数	0 日				
	20) 往復移動距離区分	L < 100km (100km 未満)				
P54306	鉄道料金					
	消費税抜き	2. 000	人	1, 562	3, 124	
	合 計				3, 124	算出数量 1. 000 回
	単 価		回		3, 124	
	*** S 単一 6 号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1. 000 式	歩 A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成			時間的制約: なし	制約作業時間: 0. 0	
	1. A - 4, 800, 10cm, 0			夜間制約作業時間: 0. 0	冬期補正: なし	
	1) 報告書部数 (部)	1. 000		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 規格区分	A - 4		基本給時間: 8. 0	超勤時間: 0. 0	
	3) 枚数区分 (枚)	800		深夜時間: 0. 0		
	4) 厚さ区分	10cm				
	5) CD-R 枚数 (枚)	0. 000				
P43496	報告書焼付代 (コピー)					
	A - 4 以下 8 0 0 枚	1. 000	部	10, 200	10, 200	
P43544	簡易加除式ファイル					
	A 4 縦型幅 10cm (チューブ・パイプファイル)	1. 000	冊	789	789	
P43602	C D - R					
	C D - R (記録面色素フタロシアニン) 7 0 0 MB	0. 000	枚	47	0	
	合 計				10, 989	算出数量 1. 000 式
	単 価		式		10, 989	
	*** S 単一 7 号 ***					
S65501	機能診断 線の構造物		式		1. 000 式	歩 A 当たり算出
	機能診断 線の構造物			時間的制約: なし	制約作業時間: 0. 0	
	4. 600km, バイブライン			夜間制約作業時間: 0. 0	冬期補正: なし	

[illegible]

令和5年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務

特 別 仕 様 書

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

第 1 章 総 則

(適用範囲)

第 1－1 条

令和 5 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第 1－2 条

本業務は、国営多良岳開拓建設事業で造成された笹原線水路について機能診断及び機能保全計画作成を行うものである。

(場 所)

第 1－3 条

本業務において対象とする施設の場所は、佐賀県鹿島市地内で、別添位置図に示すとおりである。

(土地の立入り等)

第 1－4 条

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第 1-16 条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第 1－5 条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第 1－6 条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は、作業実施順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

(管理技術者)

第 1－7 条

- (1) 管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条 第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業農村工学 農業－農業土木 建設－鋼構造及びコンクリート
	農 業	農業農村工学、農業土木
	建 設	鋼構造及びコンクリート
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	
	鋼構造及びコンクリート	

(2) 調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第 1－8 条

担当技術者は、共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第 1－9 条

共通仕様書第 1-11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1-12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

(1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

(2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第 1－10 条

受注者は、共通仕様書第 1-37 条に記載されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 2 章 作業条件

(適用する図書)

第 2－1 条 設計の基本的事項に関しては、次の図書を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	農業水利施設の機能保全の手引き	(一社) 農業土木事業協会	令和 5 年 4 月
2	農業水利施設の機能保全の手引き 「パイプライン」	農林水産省農村振興局	平成 28 年 8 月

3	農業水利施設の長寿命化のための 手引き	農林水産省農村振興局	平成 27 年 11 月
---	------------------------	------------	--------------

(設計条件)

第 2－2 条 本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、安全管理を含めた作業計画を作成して監督職員及び監督職員が指示する者と十分打合せを行い、手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 現地調査に伴い施設内に立ち入る場合は、事前に監督職員と打合せを行い、施設管理者との調整を実施するものとする。
- (4) 現地調査の結果、新たに仮設等が必要となった場合は監督職員と協議する。
- (5) 現地調査作業を行う場合は、労働安全衛生法等の諸法令を遵守して行うものとする。

(対象施設)

第 2－3 条 本業務で実施する機能診断調査の対象施設は、次のとおりである。なお、詳細については【別紙 1】調査対象施設一覧表による。

- (1) 笹原線
L=4.60km (管水路)

(参考図書)

第 2－4 条

本業務で参考にする図書は、共通仕様書第 2-1 条によるほか次表によるものとする。

番号	図書・資料名	発行	制定(改訂)年月
1	コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針-2022-	(社) 日本コンクリート工学工	令和 4 年 6 月
2	コンクリート診断技術 '24		令和 6 年 3 月
3	コンクリート標準示方書 (設計編)	(社) 土木学会	令和 5 年 3 月
4	コンクリート標準示方書 (施工編)		令和 5 年 9 月
5	コンクリート標準示方書 (維持管理編)		令和 5 年 3 月
6	農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル (パイプライン編) (案)	農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室	平成 29 年 4 月

(貸与資料)

第 2－5 条 貸与資料は、次のとおりである。

分 類	資 料 名	数 量
現況関係資料	国営多良岳開拓建設事業 事業誌	1 式

〃	国営多良岳開拓建設事業 施設管理図	1 式
過年度業務成果物	令和 5 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 多良岳地区万才線水路機能保全検討業務	1 式
その他	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1 式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第 2－6 条

第 2-4 条、第 2-5 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項で相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、施設機能診断作業時点の最新版を用いることとし、改定された場合は、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員から請求があった場合のほか、完了検査までに一括返納しなければならない。

第 3 章 作業内容

(作業項目及び数量)

第 3－1 条

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は【別紙 2】「現地調査作業内訳表」及び【別紙 3】「機能診断作業項目内訳表」のとおりである。

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 現地調査	1 式	
2. 機能診断	1 式	
3. 機能保全計画の作成	1 式	

(現地作業内容)

第 3－2 条

現地調査の詳細は次のとおりである。また、作業は施設管理者と調整の上で行う。

- (1) 現地踏査
事前調査で得られた情報を参考に、目視により変状の有無や変状箇所の特定制を行い、踏査結果を整理する。踏査結果を踏まえ、現地調査位置、漏水調査区間を選定、検討する。
- (2) 現地調査
現地踏査において決定した区間にて漏水調査（音聴調査）を行う。
また、対象構造物について、近接目視、定量計測、動作確認を行う。
- (3) これらの調査結果は、農業水利ストック情報データベースの登録情報データ外部入出力機能（施設機械の一次診断結果にあたっては一次診断情報入力用 Excel ファイル）を利用して記録するものとし、記録した電子データは成果物に含むものとする。

(設計作業の留意点)

第 3－3 条

業務の実施にあたって、特に留意する点は次のとおりとする。

- (1) 試験試料採取及び破壊検査は構造物への影響が最小限となるよう配慮するとともに、監督職員と詳細な位置について打合せのうえ決定するものとする。
なお、採取後は、既存施設の機能を損なわないよう無収縮モルタル等により復旧を行うものとする。

- (2) 現地調査及び室内試験において著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。
- (3) 現地踏査等施設の状況確認においては、できる限り施設管理者の同行により意見・助言を受けて実施するものとする。
- (4) 対策内容の検討にあたっては、当該施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (5) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (6) 第 2-4 条、第 2-5 条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (7) 機能保全対策シナリオの検討にあたっては、最新の新素材、新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
- ・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、
<https://www.nn-techinfo.jp> を参照。
 - ・新技術情報システム（NETIS）については、
<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。
- (8) 対象施設、関連施設及び設備が機能診断を完了している場合は、同成果の内容を確認するとともに十分に活用し効率的な作業を行う。
- (9) 対策内容の検討にあたっては、事業への適用性や施設管理者の管理体制等を総合的に検討する。
- (10) 数量計算にあたっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。
- ・「工事工種の体系化」は https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/ を参照。
- (11) 農業水利ストック情報データの作成は、機能診断情報記入用 Excel ファイルによる入力のほか、登録情報データ外部入出力機能等を適宜使用することを基本とするが、作業方法、内容等について監督職員と十分協議を行った上作業を行うものとする。なお、作成した電子データは成果物に含むものとする。

（業務写真における黒板情報の電子化）

第 3-4 条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の 1 から 4 によりこれを実施するものとする。

1 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信性憑確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

2 機器等の導入

- (1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- (2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

3 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- (1) 受注者は、1 の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- (2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。
なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- (3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

4 写真の納品

受注者は、3 に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL (https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

5 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第 4 章 打合せ

(打合せ)

第 4－1 条

共通仕様書第 1-10 条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには、管理技術者が出席するものとする。

- 初 回 作業着手の段階
- 第 2 回 中間打合せ（現地調査段階）
- 第 3 回 中間打合せ（機能診断評価段階）
- 第 4 回 中間打合せ（機能保全計画の策定段階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式から Web 方式に変更する場合がある。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第 1-11 条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第 5 章 成果物

(成果物)

第 5－1 条

成果物を共通仕様書第 1 章第 1-17 条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体（CD-R等）正副 2 部
- 2 成果物の出力 1 部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(成果物の提出先)

第 5－2 条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口 8 9 1－2 0

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

第 6 章 契約変更

(契約変更)

第 6－1 条

業務請負契約書第 17 条から第 20 条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第 2－2 条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第 2－3 条に示す「対象施設」に変更が生じた場合。
- (3) 第 3－1 条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (4) 第 4－1 条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (5) 第 5－1 条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (6) 履行期間の変更が生じた場合。
- (7) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (8) その他

第 7 章 定めなき事項

(定めなき事項)

第 7－1 条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙1】調査対象施設一覧表

施設名称・ 対象構造物	施 設 概 要	備 考
笹原6号線 (管水路)	① 塩ビ管 ϕ 125mm～75mm L=0.95km 【延長合計 L=0.95km】	
笹原12号線 (管水路)	①塩ビ管 ϕ 100mm L=0.82km 【延長合計 L= 0.82km】 ②付帯施設 空気弁 ϕ 20mm 2箇所 制水弁 ϕ 75mm 2箇所	
笹原13号線 (管水路)	①铸铁管 ϕ 150mm L=0.26km ②石綿管 ϕ 150mm L=0.81km 【延長合計 L= 1.07km】 ②付帯施設 空気弁 ϕ 20mm 4箇所 制水弁 ϕ 200mm～ ϕ 75mm 7箇所 流量計 ϕ 150mm 2箇所	
笹原14号線 (管水路)	①石綿管 ϕ 150mm L=0.97km 【延長合計 L= 0.97km】 ②付帯施設 空気弁 ϕ 20mm 1箇所 制水弁 ϕ 150mm 2箇所 流量計 ϕ 150mm 1箇所	
笹原15号線 (管水路)	② 铸铁管 ϕ 250mm L=0.25km ②石綿管 ϕ 250mm L=0.54km 【延長合計 L= 0.79km】 ③付帯施設 空気弁 ϕ 20mm 2箇所 制水弁 ϕ 250mm 1箇所 流量計 ϕ 250mm 1箇所 吐水槽 1箇所	
減圧水槽	1箇所	上記路線内のいずれかで1箇所
流量計室	1箇所	同上

【別紙 2】現地調査作業項目内訳表

笹原線

作業項目	作業内容	数量
1. 平面図及び縦断図の電子化	施設管理図、用地管理図、地理院地図等を基に、平面図及び縦断図を整理し電子化（CAD化）し、管路情報（管種・管径、付帯施設位置等）を図示する。 現地踏査により概定した路線、付帯施設の情報を反映する。	L=4.60km
2. 現地踏査	事前調査で得られた情報、電子化図面を参考に、想定される路線上にて構造物等を確認しながら路線位置を概定するとともに、地形的特徴や維持管理上の課題を整理する。また、概定した路線・付帯施設等の変状の有無や変状箇所の特特定を行い、踏査結果を整理する。踏査結果を踏まえ、現地調査位置を選定、検討する。	L=4.60km
3. 漏水調査（音聴調査）	漏水探知機及び音聴棒を用いて漏水の有無を確認し、漏水が確認された場合は区間を整理する。	L=3.73km
4. 概略診断調査 【バルブ類】	事前調査、現地踏査により得られた情報を基に、目視、触覚、聴覚等の五感による判断等から設備の状態、機能を確認する。	25箇所
5. 近接目視（点的構造物） 【付帯施設（吐水槽、減圧水槽、流量計室）】	目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチを作成する。	1 式 (69m ²)
6. コンクリート強度推定調査 【付帯施設（吐水槽、減圧水槽、流量計室）】	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。 (各施設 1 箇所毎に 1 測点実施)	3 測点
7. 中性化深さ調査 (ドリル法) 【付帯施設（吐水槽、減圧水槽、流量計室）】	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。(NDIS 3419) (各施設 1 箇所毎に 1 箇所実施)	3 箇所

【別紙3】機能診断及び機能保全計画作業項目内訳表

笹原線

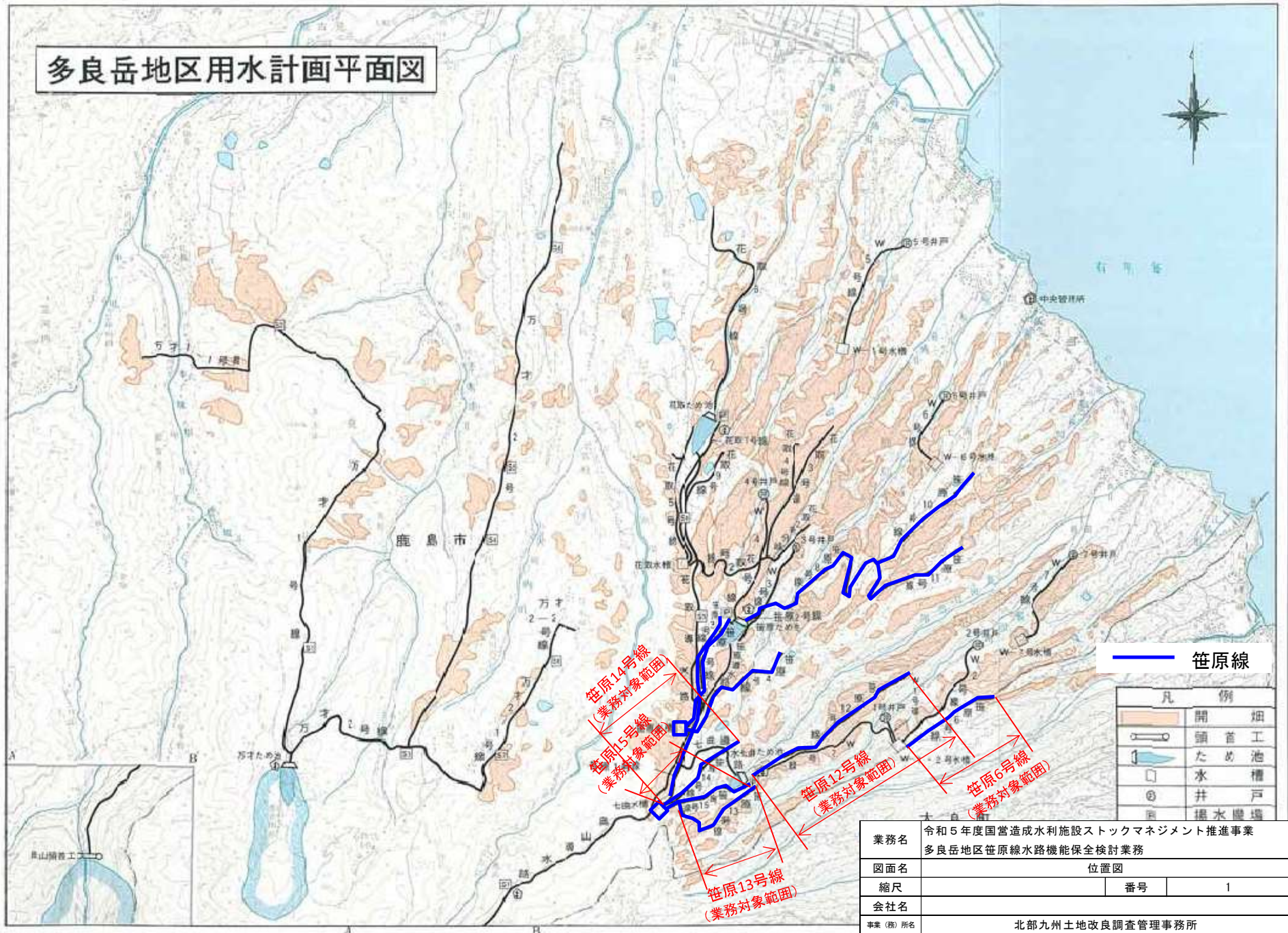
作 業 項 目	作 業 内 容	数 量
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	1 式
2. 事前調査	施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し診断評価の基礎材料とする。	1 式
2-1. 資料調査		
2-2. 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状個所・事故履歴・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	1 式
3. 施設機能の検討	資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。	1 式
4. 施設の重要度評価	事前調査及び現地踏査結果を基に、施設の重要度を評価する。	1 式
5. 性能低下要因の推定	事前調査及び現地踏査結果を基に、性能低下の推定を行う。また、環境（水質又は周辺環境）条件による性能低下の可能性があるか推定する。	1 式
6. 健全度評価	調査結果に基づき、調査単位毎に施設の健全度の判定を行う。	1 式
7. 性能低下予測	性能低下要因推定結果、健全度判定結果等を踏まえ、現況施設の性能判定を行うとともに、性能管理指標を選定し、現地条件に適合する性能低下予測手法により、性能低下予測を行う。	1 式
8. 管理水準の設定	性能低下予測の結果を基に、構造の安全率、施設の重要度及び経済性を踏まえ、各施設の管理水準を設定する。	1 式
9. 機能保全対策の検討	施設別に現地状況に適合する対策工法を複数選定し、選定された対策工法・実施時期・実施範囲を組み合わせ対策シナリオを複数作成する。	1 式
10. 機能保全コストの算定	対策シナリオ毎に機能保全コストを算定し、比較する。（コスト算定のために必要な数量計算、設計図面作成を含む。）	1 式
11. 機能保全計画の策定	機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設重要度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画を策定する。なお、状況監視等を継続する必要があると認められる施設については、経年変化状況把握などのための施設監視計画を作成する。	1 式
12. 農業水利ストック情報データの入力及び登録	上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの入力及び登録を行う。	1 式
13. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	1 式

令和5年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務

図面目録

図面番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	位置図	1	
計		1	

多良岳地区用水計画平面図



— 笹原線

凡 例	
	開 煙
	頭 首 工
	た め 池
	水 槽
	井 戸
	揚 水 機 場

業務名	令和5年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務		
図面名	位置図		
縮尺		番号	1
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		